

おがまち日奈久ニュース

平成28年12月号
(第88号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(10月末現在)
男1269人
女1590人
計2859人
(21年末3444人)

外国の人に「ごあいさつ
こんにちは
英語 グッドアフタヌーン
中国語 ニーハオ
韓国語 アンニョン ハシムニカ

「楽しかった」「来年も参加したい」 震災義援金も シニアサッカー大会

第7回湯の街日奈久シニアサッカーフェスティバル2016が11月12日(土)13日(日)日奈久ドリームランドを会場に、県内外より17チーム300名の参加を得て開催されました。

本大会は、サッカーを通じて健康な心身の維持増進、親睦と融和により生涯スポーツの普及を図り、併せて歴史ある日奈久温泉の活性化に一役を担う大会として毎年開催されています。また、八代市サッカー協会及び日奈久住民自治会を中心とする地域関係団体や、地元協賛企業で構成する実行委員会が運営する他に例をみない試みの大会でもあります。

チーム(世話役柴田さま)から熊本地震震災の義援金を頂くなど、あらためてスポーツの持つ良さや意義、リスパクト(相手に敬意を表す)精神のすばらしさを痛感した大会でもありました。大会運営や歓迎レセプションなどで、ご協力

12日夜の歓迎レセプションに向けて、住民自治会の有志は竹灯り500本を作成、会場のイベント広場に配置・点灯したり、出店用のテント(ターフ)の準備をするなど歓迎ムードを盛り上げました。レセプションには日奈久の飲食関係店や旅館などが6つのブースに出店してました。また婦人会は延べ55名で13日の昼食にと、豚汁とおにぎり250



歓迎レセプションで、食べ放題と他チームとの交流で活気づく選手たち

食を前日から仕込んで、当日試合会場で振る舞い、選手たちから「美味しい!」「ありがたう!」と喜ばれました。



PK戦にもつれ込むなど熱戦が展開

主催した八代サッカー協会会長北園武広さんは「毎年参加している『名古屋500クロース070



熊本地震でバラバラに倒壊した慰霊塔
白石は彫刻(生存者の佐藤さん提供)

津森小海難事故慰霊塔(益城町)地震で倒壊 再建に向けて募金を受け付け

益城町の津森小学校海難事故慰霊塔が熊本地震でバラバラに倒壊しました。益城町では住民の願いにこたえて慰霊塔の再建に動きはじめました。そこで、日奈久住民自治会は再建支援金として「津森小遭難の碑建立積立金」残金から20万円を贈ることになりました。

さらに、住民の皆様にも呼びかけて支援金を募ることにしました。12月1日から受け付けます。

受付窓口 南部市民センター
大原主事

海難事故は、昭和24年11月5日、修学旅行の6年生57名と引率教師5名を乗せた遊覧船が馬越沖合で転覆。事故を知った漁師、漁業組合、青年団、消防団、婦人会、医師などが日奈久一丸となって救助、遺体の安置など最善を尽くしました。しかし児童22名と教師の計24名が死亡するという大事件でした。慰霊碑の彫刻は日奈久出身の彫刻家田島鳥彦氏の作品です。50年忌には津森から日奈久総社教に50万円が寄贈され、津森小遭難の碑建立資金に充てられました。

日奈久はかつて水不足で大変困っていました。井戸を掘っても水質が悪く、水道の敷設は住民の悲願でした。昭和33年には待望の水道が敷設されましたが、水量が足りず、一日中大量の水が湧き出た。昭和38年頃からは、当時の市議や町の有志者が水源を求めて日奈久地区を試掘しましたが、水源は見つからなかった。

りませんでした。それが、昭和41年に高田地区本野町に水源用地を取得することが出来たのです。その際に相談を受けたのが白石正氏(新田町)

た。昭和43年4月3日、水源から日奈久までの送水設備が竣工し、水量(一日の送水量約1200t)共に満足できる結果を得て現在に至っています。

高田水源地 (写真は合成です)

12月の行事から

18日(日) 日奈久温泉駅コンサート 10:30
23日(金) ● 天皇誕生日
23・24日 がんばれ0-60サッカー大会
ドリームランド

平成29年1月
元旦 ● 町内対抗駅伝大会 10:00 日奈久中G
住民自治会会議 南部市民センター

13日(火) 町内連絡委員例会 13:50
15日(木) 運営委員会 17:00
19日(月) 広報部会 19:00

ばんぺいゆ風呂が始まります

○ばんぺい湯 (2階大浴場、3階家族湯)
12月11日~1月末
○各温泉旅館、松の湯家族風呂
12月10日~1月末
※詳しくは観光案内所にお尋ね下さい。

子供たちも大喜び サツマイモ収穫祭

11月6日(日)、10時の平田会長の合図と共に、待ち構えていた40名ほどの参加者が一斉に掘り始めました。1袋5kgが500円で殆どの人が2袋収穫して持ち帰りました。熊本市から参加した田川さん(中1)は「今度で3回目です。土に触れるのはとても楽しいです。太いものにはたくさんのお芋がついていました。」と袋にいっぱい詰めたお芋を抱きかかえながら話してくれました。

品種はナルトキントキ。参加者63人、販売収益8300円でした。主催:日奈久住民自治会 協力:アグリ日奈久



焼き芋の収穫祭
もったった収穫祭

「ご注意ください!」
電話やメールでの詐欺

住民自治会運営委から

11月16日開催の運営委員会から記事で扱っていない事柄について概要をお知らせします。○事務局から
(1)コミュニティセンターの一部管理業務委託に伴う事務職員の新採用選考委員5名を選出します。
(2)自治会備品貸出一時休止について
返却された機械の損傷が激しく、返却時の検査態勢が整うまでは、役員以外への貸出を休止します。
(3)光通信の早期開通申請をします。
次回は12月15日(木)17時

JRAから寄付物品



贈呈物品を前に目録がJRAウインズ八代支店長(右)から平田会長へ

11月4日(金)南部市民センターにおいてJRAから平成28年度寄付物品の贈呈がありました。山下町・馬越町に座椅子各9脚、中西町に座椅子4脚、竹之内町に座卓4台、下西町2にパイプ椅子5脚・掛け時計1個、日奈久公民館に掃除機3台が配布されます。

(広告欄)

賑わう湯の町日奈久 麦島勝 写真の世界③



「日奈久の水汲み」 昭和28年9月12日撮影
熊本県内でも有名な温泉地、日奈久。豊富な湯量を誇るが、飲み水には不自由していた。町内の何力所かにある共同水槽まで朝夕バケツや桶を持って水汲みに行き、家まで往復するという苦勞をしていた。(麦島勝さん)

この写真を見た瞬間、母の当時の姿とオーバーラップして言葉に言い表すことの出来ない程胸が震えるのを覚えた。私の家にもポンプ式の井戸があったが、飲用不適の塩水であった。母は我が家の裏の30m位離れた民家から、身長150cmの小柄な身体で写真のように水を運んでいたのを思い出す。昭和41年8月には陸上自衛隊に緊急出動を要請して各家庭へ給水するほどの水不足となつた。

当時の苦勞は現在の水道が当たり前の人々にとっては想像もつかないことだろう。熊本地震で一番困ったのが断水と聞いている。改めてライフラインの大切さを思い知らされた。(下西町 金井昌康さん)

昭和41年8月は、全国版画教育研究大会が日奈久小で開催。参加者が千人を超え、断水で困ったと熊本版画の会の記録にあります。

11月13日(日)、天候にも恵まれ、保護者・地域の方々が多数詰めかけました。会場には、生徒の作品や地域の方々の作品が展示され盛り上げていました。



ミュージカル「レ・ミゼラブル」を熱演する中学生たち

文化祭は、「Hiisagu Spirit's TOP (主体的・協力・感謝の意味) school」になるために「のテーマのもと開催されました。各学年等の発表も素晴らしく、今や日奈久文化祭の代名詞となっているミュージカルは「レ・ミゼラブル」。一人一人が堂々と演技し、大きな感動が広がりました。全校生徒47名が目的をしっかりと持って取り組んできた成果が、一人一人の輝く姿となって現れ、大

感動の輪広がる

11月6日(日)、保護者と地域の方を迎えて開催されました。各学年とも工夫を凝らした発表で、劇中にマツト運動を取り込んだり、歌や器楽演奏など、子供たちの表現や発表もすばらしいもので、日ごろの学習がよく分かる内容でした。5年生は環境問題の学習を、6年生は修学旅行で取り組んだ平和学習を通して自分出来ることをまとめていました。

日奈久中文化祭

大きな感動と元気をもたらしたすばらしい文化祭でした。



すくすく豊かに成長 日奈久小「たけのこ発表会」

温泉と実りの秋に感謝して 温泉神社秋季例大祭、奉納演芸大会



町内からは各2組ほどの出し物、そして飛び入り(下)小学生のかわいい「大声あげて大会」



平日のため子供たちの参加は放課後から。観客もやや少なめ。それでも枚数席はご馳走やお酒ありで、ステージもハッスル。愉快なハッキーさんの司会で、大声あげて大会や自衛官のラッパ演奏、バナナのたたき売りなど、楽しい秋の一日でした。

無灯火自転車街頭調査 日奈久校区交通安全母の会

11月15日(火)午後5時半から、交通安全母の会(婦人会)は、いこいの広場とほんべい湯前で無灯火自転車の調査を行いました。交通安全推進委員・交通指導員の皆さんの協力を得て、毎年夕暮れが早くなるこの時期に実施しています。いこいの広場前では7台中7台とも点灯、ほんべい湯前は13台中6台が無灯火でした。

妙見祭で日奈久をPR チームアイラブ日奈久

日奈久のPRも兼ねて、八代妙見祭のイベント「2016妙見座」の飲食ブースに出店。晚白柚のペーパーストを使った「マキシントスカッシュ」は、寒い中での販売で苦勞しましたが、お客様には好評でした。



「マキシント」とはマキシマム・シトラスの略語で、最大級の柑橘という意味、すなわち晚白柚のこと

投稿

「ふだんぎ同窓会」に参加して
菊陽町在住 永野輝全さん

今年四月十四日(十六日)、立て続けに三度も大地震が襲いました。千年に一度起きるといわれる「布田川・日奈久断層」を震源とするものであった。菊陽町でも震度6.6強の揺れがあり、部屋の中はめちゃくちゃ。



ドリム日奈久が1・2位 市バルバレー大会

11月12日(土)市総合体育館で行われ、ドリム日奈久池田チームと西村チームが決勝を戦い、接戦の末池田チームが優勝しました。

日奈久のために150名 復興支援清掃活動

11月26日(土)朝から温泉神社清掃活動でした。農事務所、八代市、肥後銀行(八代の各支店)、商工会議所の皆さんが参加されました。(松本啓佑さんのフェイスブックから)



会議所の皆さんが参加されました。(松本啓佑さんのフェイスブックから)

吉田さん、山田さん おれんじ鉄道が表彰

肥薩おれんじ鉄道は、永年にわたりボランティアで美しい日奈久温泉駅作りを貢献している吉田貢さん(馬越町)と山田健二さん(山下町)を11月1日に功労者として表彰しました。



淵崎社長を囲んで山田さん(左)と吉田さん

上野浩之さん マスターズで大活躍

「38年ぶりに58歳で陸上競技を再開、今年3年目です。」という上野浩之さん(東町)は、今年、マスターズ陸上競技大会(60・64歳クラス)に長崎、熊本、全九州大会(佐賀、鹿児島)の4大会に出場し、いずれも好成績を上げ大活躍しました。熊本大会では、60歳、1000m、2000mに出場しすべて優勝。全九州大会では三段跳び優勝、走り幅跳びが3位でした。



「38年ぶりに58歳で陸上競技を再開、今年3年目です。」という上野浩之さん

シィ・湯・遊で週2回、30分ほどの練習をこらして、決して無理をしないそうです。

身の危険を感じて床から逃げようとした。しかし中学時代のことが話題となり、話が弾み、懐かしさを感じ皆さんと楽しい一日を過ごしました。神奈川、神戸、福岡などからも参加され「お互いに元氣をいませうね。また会える日を楽しみに」と語り合いい、若返った思いでした。

記念品に桑原弘吉氏作「ひょうたん」・山口代さん作「ひな人形」を頂き、日奈久の思い出として陳列ケースに飾り大切にします。有り難うございました。お世話して下さいました幹事の方へ厚くお礼申し上げます。

(広告欄)